

歯科口腔外科・矯正歯科

● スタッフ (平成27年10月1日現在)

診療科長 近津 大地
 医局長 虻川 東嗣
 病棟医長 渡辺 正人
 外来医長 高橋 英俊

医師数 常勤 14名
 非常勤 16名

● 診療科の特徴

高齢化が進んでいる我が国では、口腔の医療はますます重要になってきています。

そもそも口腔には「食べる」「しゃべる」「豊かな表情を作る」など、有意義な人生を送る為の必須不可欠な機能があります。現在、当科では臨床において顎変形症などについての手術、顎顔面骨骨折の整復、唇顎口蓋裂の顎裂部骨移植手術及び顎矯正手術、口腔癌の外科的治療や化学療法、またデンタルインプラントを用いた歯科補綴治療などを行っています。

● 診療体制と診療対象疾患

顎顔面インプラントセンター

歯を喪失された方に対するデンタルインプラント（人工歯根）は、近年広く普及し、一般的な歯科医療の一つとなりつつあります。当科では、2013年5月より顎顔面インプラントセンターを設立し、これまで以上に充実した診療体制の提供を開始しました。

当センターの特長は医科大学病院の特性を生かし、複数疾患を持つ患者さんのインプラント治療の対応も可能な点です。全身状態や隣接組織に対し十分に配慮したうえで、最先端の研究成果に基づいた科学的で安全な治療を実施しています。

腫瘍外来

顎・口腔領域には様々な腫瘍の発生により、適切な処置が遅れると重篤な結果を招くことがあります。また、単に褥瘡と考えられていたものが、すでに悪性化している事も少なくありません。特に、悪性腫瘍は全身病であり、全身的な立場から治療を行う事が大切です。

当科は医科大学の歯科口腔外科という立場を生かして、各科と連携して、最新の再建手術を含めた治療を行っています。

粘膜疾患外来

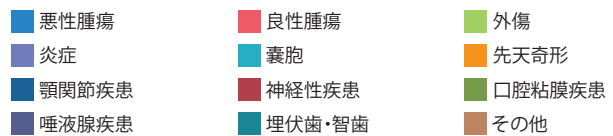
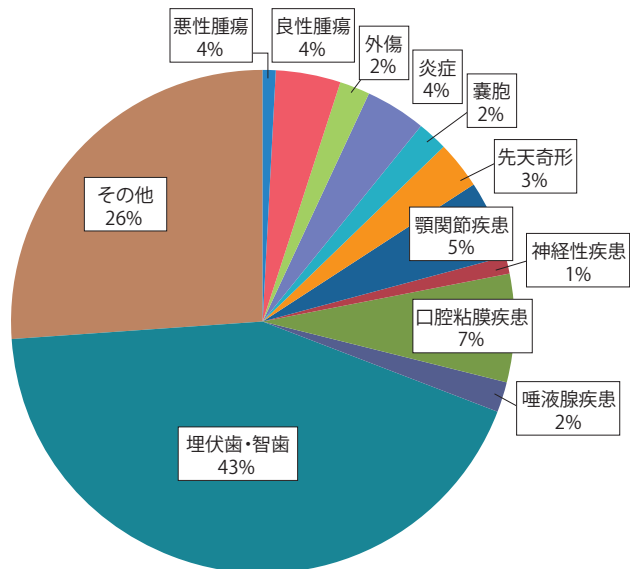
顎・口腔領域には様々な腫瘍の発生により、適切な処置が遅れると重篤な結果を招くことがあります。また、単に褥瘡と考えられていたものが、すでに悪性化している事も少なくありません。特に、悪性腫瘍は全身病であり、全身的な立場から治療を行う事が大切です。

当科は医科大学の歯科口腔外科という立場を生かして、各科と連携して、最新の再建手術を含めた治療を行っています。

血液疾患外来

東京医科大学病院へは多数の血液疾患の患者さんが来院します。そのため、当科へも院内各科から血友病、白血病、再性不良性貧血、ITPなどの多くの患者さんが紹介されます。当科の血液外来は血液疾患患者を専門的に扱い、歯科口腔外科的処置だけではなく、白血病などの顆粒球減少による口内炎や骨髄移植後のGVHD、HIV感染者やAIDS患者の口腔管理に力を入れています。

平成27年度実績
1) 外来診療



2) 入院診療

